

## 閏年（うるうどし）

2月は平年では28日ですが、4年に一度29日の年があります。この年を閏年といい、閏年には1年が366日になることは知っていると思います。また、閏年の夏にはオリンピックがあると覚えている人も多いと思います。

他の月は30日か31日なのに、2月だけが28日しかなく、しかも4年に一度29日になるという組み合わせを不思議に思っている人もいることでしょう。

閏年などを現在のように決めたのは、1582年、ローマ法王グレゴリオ13世という人だそうですが、それまでにはいろいろなことがあったそうです。

そもそも1年が365日であったり366日であったりするのには、地球が太陽のまわりを一周する「公転」に要する日数が、365日ぴったりではなく365.2422日であるからです。この0.2422日を修正するためにほぼ4年に一度閏年を決めました。しかし、0.2422を四倍しても0.96でわずかに一日には足りません。そこで100年に一度は閏年になる年を閏年にしないように決められています。「西暦年数が4で割り切れる年は閏年。ただし、100で割り切れる年は平年。また、400で割り切れる年は閏年」。これが閏年の世界的な決まりです。大昔の人が太陽と地球の動きをここまで計算できたのは、すごいことだと思います。

では、12ある月のうち、どうして2月に閏年を調整する日があるのでしょうか。普通に考えるなら、最後の12月に調整するのが自然だと思いませんか。その理由は、遠くローマ時代にまでさかのぼります。ローマ帝国で有名なジュリアス・シーザーという人がいて、彼の時代には1年は今の3月から始まり2月が最後の月だったのです。そこでシーザーは、奇数月を31日、偶数月を30日と決め、閏年以外は1年で最後の月、2月を29日としたのです。

その後、1年の決め方については長い歴史のなかではいろいろなことがありました。シーザーの後継者で初代ローマ皇帝となったアウグストゥスは、自分が生まれた8月が偶数月で30日であったのを不愉快に思い、何と31日にしてしまったのだそうです。何とも自分勝手な話だと思います。天文学や数学を駆使して科学的に考えられた太陽暦で、2月が28日しかないのには、こんな歴史と理由があったのです。物事には、それぞれ始まった経緯や背景があります。歴史や伝統・文化を知るためにもぜひ自分の興味・関心のあることについて調べてみてください。

# 三学期も頑張ります

本年度もあと2か月を残すだけとなりました。現在中学3年生はもちろん自分の進路に向け一生懸命努力していますが、他の学年の児童・生徒も集中して学習する姿勢が見られます。3学期になってからつばさ教室に通室する仲間も増えて、つばさ教室も活気づいてきました。皆さんに書いてもらった3学期の目標の一部を掲載します。

## 【生活面】

- ・朝7時に起きて、寝坊はしない。
- ・出したものをきちんと片づける。夜10時までには寝る。
- ・自分のことは自分でする。
- ・翌日の準備は前日にする。自分に責任を持つ。

## 【学習面】

- ・一週間のうちに5教科の勉強を必ず一回はやる。
- ・なるべく苦手な科目をやる。集中して取り組む。
- ・チャレンジを中2の分まで終わらせる。勉強を追いつかせる。
- ・勉強をするときは集中して最後までやりとげる。その日やった問題をもう一度練習する。



# 防災の日

1月17日(水)は防災の日の取り組みとして、麻布消防署の方に来ていただき、応急救護について学びました。心臓マッサージの仕方やAEDの取り扱い方などをとてもわかりやすく説明してくださり、楽しい雰囲気の中で大切なこと学ぶことができました。

その後、火災を想定し避難訓練をして、昼食に非常食の試食をしました。今年になってつばさ教室に通う児童・生徒が増え、この日は今までになく、大人数での避難訓練と試食会になりました。非常食の五目ごはんととん汁をにぎやかな雰囲気の中でおいしくいただくことができました。

防災の日の取り組みの感想の一部を掲載します。

- ・AEDはいろいろな所にたくさんあるけど、今までは全く使い方がわからなかった。AEDの使い方や心臓マッサージのテンポや約5cmほど押したりすること、足の位置など今日やってみてわかった。
- ・AEDは、基本どこにでもあるんだなと改めて知った。心臓マッサージが以外にも力が必要だと思った。救急車が到着する時間の早さに驚いた。
- ・消防少年団で活動をしているので、知っていることが多かった。



## ==== 2月の予定 =====

**体 育 活 動** 2月7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)

※中学生は学年末考査のため体育活動を行わない日があります。

**外 国 語 活 動** 2月14日(水)、28日(水)